

研究課題名	重度手根管症候群における腱移行術の有用性に関する後ろ向き研究
研究の意義・目的	<p>手根管症候群とは手首から掌にかけて、正中神経という神経が靭帯に圧迫されることで、掌の親指側の強い痛みやしびれを感じ、進行すると親指が使いにくくなり大変生活に不自由する疾患です。通常は圧迫している靭帯を切開するのですが、重症の場合は腱をつなぎ換える手術を併用することがあります。</p> <p>しかし、治療成績に影響する因子や病態については未解明な点が多いです。そのため、本研究では術後成績に関連する因子の特定や手術の有効性などを検討し、どのような患者さんに腱移行術が適切であるか分析することを目的としています。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2025 年 12 月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2019 年 1 月~2023 年 5 月に大阪市立大学医学部附属病院および大阪公立大学医学部附属病院の整形外科で、手根管症候群の診断で手根管開放術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：患者基本情報(年齢、性別、診断名、病歴)、身体所見(身長、体重)、血液検査(白血球数、CRP)、画像検査(X線、CT、MRI)、理学所見(関節可動域、握力・筋力)、アンケート(患者立脚型評価である QDASH,HAND20)、電気生理学的検査(神経伝導速度、振幅、遠位潜時)</p>
試料・情報を利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科整形外科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】岡田充弘</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。

連絡先

大阪公立大学医学部附属病院 整形外科

担当者氏名：岡田充弘

電話番号：(06)-6645-2121

メールアドレス：gr-med-seikei@omu.ac.jp